



# Sun™ Management Center 4.0 Version 3 アドオンソフトウェアの リリースノート

---

SPARC Enterprise™  
M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバー用

Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 821-0649-10  
2009 年 8 月、Revision A

次のフィードバック [+] リンクをクリックして、このドキュメントに関するコメントを送付してください: <http://docs.sun.com>

Copyright 2009 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. および富士通株式会社は、それぞれ本書に記述されている製品および技術に関する知的所有権をそれぞれ所有または管理しています。これらの製品、技術、および本書は、著作権法、特許、およびその他の知的所有権に関する法律および国際条約により保護されています。これらの製品、技術、および本書に対して Sun Microsystems, Inc. および富士通株式会社が有する知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれていますが、その限りではありません。

本書およびそれに付属する製品および技術は、その使用、複製、頒布、および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。富士通株式会社と Sun Microsystems, Inc.、および該当する場合はそのライセンスの書面による事前の許可なく、これらの製品または技術および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられています。本書の提供は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、本製品またはそれに付属する技術に関するいかなる権利またはライセンスを付与するものでもありません。本書は富士通株式会社または Sun Microsystems, Inc. の一部、あるいはそのいずれかの関連会社のいかなる種類の義務を含むものでも、意味するものでもありません。

本書および本書に記述されている製品および技術には、ソフトウェアおよびフォント技術を含む第三者の知的財産が含まれている場合があります。これらの知的財産は、著作権法により保護されているか、富士通株式会社または Sun Microsystems, Inc. あるいはその両方へサプライヤからライセンスが付与されているか、あるいはその両方です。

GPL または LGPL が適用されたソースコードの複製は、GPL または LGPL の規約に従い、該当する場合に、エンドユーザーからのお申し込みに応じて入手可能です。富士通株式会社または Sun Microsystems, Inc. にお問い合わせください。

この頒布には、第三者が開発した資料が含まれる場合があります。

本製品の一部はカリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Java、Netra、Solaris、Sun Ray、Answerbook2、docs.sun.com、OpenBoot、Sun Fire、および Sun Management Center は米国ならびに他の国における Sun Microsystems, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。

富士通および富士通のロゴは富士通株式会社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

SPARC64 は SPARC International, Inc. の商標で、Fujitsu Microelectronics, Inc. および富士通株式会社のライセンスを受けて使用されています。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、Sun Microsystems, Inc. が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。Sun Microsystems, Inc. は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。Sun Microsystems, Inc. は Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは OPEN LOOK グラフィカルユーザーインターフェースを実装するか、またはその他の方法で Sun Microsystems, Inc. との書面によるライセンス契約を遵守する、Sun Microsystems, Inc. ライセンス実施権者にも適用されます。

United States Government Rights - Commercial use. U.S. Government users are subject to the standard government user license agreements of Sun Microsystems, Inc. and Fujitsu Limited and the applicable provisions of the FAR and its supplements.

免責条項：本書または本書に記述されている製品や技術に関して富士通株式会社、Sun Microsystems, Inc. またはそのいずれかの関連会社が行う保証は、製品または技術の提供に適用されるライセンス契約で明示的に既定されている保証に限りです。このような契約で明示的に規定された保証を除き、富士通株式会社、Sun Microsystems, Inc. およびそのいずれかの関連会社は、製品、技術、または本書に関して、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保証も行いません。これらの製品、技術、または本書は、現状のまま提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われたいものとします。このような契約で明示的に規定されていないかぎり、富士通株式会社、Sun Microsystems, Inc. またはそのいずれかの関連会社は、いかなる法理論のもとでも第三者に対しても、その収益の損失、有用性またはデータに関する損失、あるいは業務の中断について、あるいは間接的損害、特別損害、付随的損害、または結果的損害について、そのような損害の可能性が示唆されていた場合であっても、適用される法律が許容する範囲内で、いかなる責任も負いません。

本書は「現状のまま」をベースにして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害についての黙示の保証等を含む、明示的あるいは黙示的な条件、表明、および保証は免責されます。ただし、そのような免責事項が法的に無効である場合はその限りではありません。



リサイクル  
してください



Adobe PostScript

# 目次

---

## **Sun Management Center 4.0 Version 3** アドオンソフトウェアのリリース ノート 1

新機能 1

サポートされているプラットフォームおよび環境 2

    サポートされているプラットフォーム 2

    サポートされているソフトウェア 2

推奨パッチ 3

ドキュメント 4

アドオンソフトウェアの入手 4

既知の問題および回避策 5

ドキュメントのアップデート 6



# Sun Management Center 4.0 Version 3 アドオンソフトウェアのリリース ノート

---

この文書には SPARC Enterprise™ M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバー用 Sun™ Management Center 4.0 Version 3 アドオンソフトウェアのリリースノートが含まれています。この文書には次のセクションがあります。

- 1 ページの「新機能」
  - 2 ページの「サポートされているプラットフォームおよび環境」
  - 3 ページの「推奨パッチ」
  - 4 ページの「ドキュメント」
  - 4 ページの「アドオンソフトウェアの入手」
  - 5 ページの「既知の問題および回避策」
- 

## 新機能

- SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバー用 XSCF Control Package (XCP) 1090 ファームウェアが必要です。
- 次に挙げる、XCP 1090 の新機能に対応する新しいプロパティを System 表に追加します。
  - actualPower
  - actualPowerPollingInterval
  - exhaustAirFlow
  - exhaustAirFlowPollingInterval
  - ambientTemperature
  - ambientTemperaturePollingInterval
  - permittedPower

- CMU 表に次の新しいプロパティを追加します。
  - cmuType

## サポートされているプラットフォームおよび環境

### サポートされているプラットフォーム

Sun Management Center 4.0 Version 3 アドオンソフトウェアは次のシステムをサポートします。

- SPARC Enterprise M3000 サーバー
- SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバー
- SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバー

### サポートされているソフトウェア

表 1 このリリースに最小限必要なソフトウェアバージョンの一覧です。

表 1 最小限必要なソフトウェアバージョン

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
モニターされているプラットフォーム	XCP ファームウェア メモ - Sun Management Center アドオンソフトウェアのアップデートは XCP ファームウェアイメージのアップデートに含まれています。	1090
モニターされているドメイン	Solaris™ オペレーティングシステム	10 11/06
	Sun Management Center コアソフトウェア	4.0
	SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバー用 Sun Management Center アドオンソフトウェア	4.0 Version 3

表 1 最小限必要なソフトウェアバージョン (続き)

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
次の両者に対応：	Solaris オペレーティングシステム*	8 2/04
• サーバーマシン		9 9/04
• ワークステーションまたは共通ネットワークロケーション (コンソールレイヤー用)		10 11/06
	Sun Management Center サーバーコアソフトウェア	4.0
	SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバー用 Sun Management Center アドオンソフトウェア	4.0 Version 3

\* Solaris オペレーティングシステムディストリビューションは、「エンドユーザーシステムサポート」以上にする必要があります。

## 推奨パッチ

お使いのプラットフォーム、コア Sun Management Center 4.0 アプリケーションおよびこのアドオンソフトウェア用に、Solaris ソフトウェアパッチおよび Sun Management Center パッチが用意されている場合があります。お使いのプラットフォームおよび Sun Management Center ソフトウェアリリースノートの製品ノートには、必要なパッチや推奨パッチについての情報が含まれている場合があります。

**メモ** - Sun Management Center 4.0 ソフトウェアおよびこのアドオンをインストールする前に、お使いのプラットフォームおよびオペレーティングシステムに必要なパッチをすべてインストールする必要があります。

Sun 社とサービス契約がある場合は、次のサイトからパッチをダウンロードできます。

<http://sunsolve.sun.com>

---

## ドキュメント

Sun Management Center のドキュメントは次のサイトにあります。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/sun.mgmt.ctr40>

このアドオンソフトウェアの詳細については、コア Sun Management Center ドキュメントを補完する、Sun SPARC Enterprise サーバー : Sun SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバー用 Sun Management Center 4.0 付録を参照してください。

---

## アドオンソフトウェアの入手

この Sun Management Center 4.0 Version 3 アドオンソフトウェアを含む、Sun Management Center ソフトウェアは、次のサイトからダウンロードできます。

<http://www.sun.com/download>

ソフトウェアをインストールする際の詳細は、Sun SPARC Enterprise サーバー : Sun SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバー用 Sun Management Center 4.0 付録を参照してください。



# 既知の問題および回避策

表 2 は Sun Management Center ソフトウェアの問題および回避方法の一覧です。

表 2 Sun Management Center の問題および回避方法

CR ID	詳細	回避方法
6567937	Sun Management Center アラームは SP フェイルオーバーに成功したあとには、アラームタブに表示されません。	適切なアラーム状況を表示して表を更新するには、アラーム表の再ロードボタンをクリックします。
6750818	物理的表示はウェブコンソールでは見ることができません。これはすべての SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 システムのドメイン設定リーダーおよびプラットフォーム管理モジュール上の両者に当てはまります。	Java™ Sun Management Center コンソールを使用して、このアドオンソフトウェアの物理的表示を見ます。
6853141	SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバーでは、プラットフォーム管理モジュールのシステム表は「システムが許容する電力消費」および「システムの実際の電力消費ポーリング間隔」の値を表示します。 しかし、この機能は SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバーではサポートされていません。	これらの機能は SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバーではサポートされていません。回避方法は必要ありません。

---

# ドキュメントのアップデート

このセクションには Sun SPARC Enterprise サーバー : Sun SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバー用 Sun Management Center 4.0 付録が発行されてから分かった最新情報が含まれています。

表 3 ドキュメントのアップデート

---

ロケーション

詳細

---

18 ページ、「セキュリティアクセスの設定」

次の情報を追加してください。

ドメイン表示表のドメインオペレータ (**domNadm** グループ) はプラットフォーム表示のドメイン、**XSB**、および **LSB** 表のプラットフォーム管理者 (**platadmn** グループ) が利用できます。

そのため、プラットフォーム管理者 (**platadmn** グループ) はドメイン表示が利用しているすべての **domNadm** グループに存在する必要はありません。

しかし、許容最大グループ数を増やして、すべての **domNadm** グループにプラットフォームオペレータのユーザー名を追加することができます。

許容最大グループ数を増加する方法

1. 次の文字列を Sun Management Center サーバーホストのシステム仕様ファイル (`/etc/system`) に追加します。

```
set ngroups_max=32
```

2. Sun Management Center サーバーホストの OS を再起動します。

**注意:** `/etc/system` で `ngroups_max=32` に設定すると、`AUTH_SYS/AUTH_UNIX` を使用した場合、通常の NFS サーバーがサポートするのは 16 グループだけであるため、NFS 相互運用性の問題が生じる場合があります。他の NFS 認証機構マップはサーバー上のユーザー名に「`netids`」をマッピングし、16 を超えるグループをサポートできます。

[CR ID 6872614]

---

表 3 ドキュメントのアップデート

ロケーション	詳細
19 ページ、「プラットフォームおよびドメイン表示管理グループの設定方法」	<p>ステップ 1 には <code>groupname</code> に使用できる値のリストが含まれています。 リストの最後の項目は (<code>platop</code> ではなく) <code>platoper</code> である必要があります。 [CR ID 6868916]</p>
36 ページ、「プラットフォーム管理モジュールについて」	<p>ステップ 2: 次のメモを追加してください。</p> <p><b>メモ</b> - <code>/etc/system</code> において <code>ngroups_max</code> を変更した場合、<code>ngroups_max</code> 値を超えてユーザー名を追加しないでください。</p> <p>すべての <code>domNadm</code> にプラットフォームオペレータは必要ありませんが、そうしたい場合には、<code>/etc/system</code> の <code>ngroups_max</code> 変数を最大の 32 に設定し、グループ上限である 16 を回避することができます。 [CR ID 6872614]</p> <p>次のメモを追加してください。</p> <p><b>メモ</b> - 完全なアクティブプラットフォーム管理は Java コンソールを使用しているときのみ可能です。ウェブコンソールにより、すべてのエレメント、および設定したアクションとしい値のモニターが可能です。 [CR ID 6872614]</p>

